



別府ゆうきくん

枕崎市立別府中学校
平成31年3月7日

～卒業・進学，進級を控え

総仕上げと新年度の準備の時～

校長 立山佳人

早いもので、今年度も残すところ二週間ほどとなりました。保護者の皆様方には、今年度も本校の教育活動に対し御理解と御協力をいただきましてありがとうございました。

一年間を振り返ってみますと、生徒たちもいろんな教育活動に一生懸命取り組んでくれ、日々成長してくれたのではないかと思います。「順風満帆」という諺もありますが、なかなか思い通りにいくことはないかもしれません。なにがしかの壁があり、その壁を乗り越えていかなければなりません。一人で立ち向かうのではなく、保護者の方に相談したり、先生方から助言をもらったりして、自らの路を切り拓いていくものです。子どもたちは自分のあるべき姿を考え、保護者の方々はどう関わっていくことがいいのか考えてもらい、子どもたちがよりよい方向に一步一步着実に進んでいってほしいと思います。

さて、18名の中学3年生は義務教育を終え、希望する進路へ新たな一步を踏み出す大事な時期となります。3月31日まで別府中学校生として、最後の締めくくりをきちんとした形で終わられるよう生活して欲しいと思います。

また、他学年は進級に向けて、今の学年での学習面や生活面の総仕上げに取り組んでいます。しっかりと取り組み、4月からの新しいスタートにつなげていきましょう。御家庭でも総仕上げと準備の大事なこの時期、親子でこれからの生活や将来のことなどについて話題にしていだけたらと思います。



日本人にとっての3月とは、どんな意味がある？

外国の方から見て、日本文化の不思議の一つに「日本の新年度はなぜ4月なのか？」というのがあります。ここでは起源や理由は省きますが、我々日本人にとっての3月は「一年間の締めくくり」であり「卒業・進学」「別れと出会い」の季節であることは間違いありません。いつか「桜の季節」イコールせつないイメージを持ってしまっているのでしょうか。新年度を控えて、平成も終了直前と、皆さん悲喜こもごものことと察します。学校だより平成30年度最終号は、焼け野原の敗戦国だったこの日本を、ここまで豊かにした一人「経営の神様」松下幸之助さんの言葉を贈ることとします。



人と比較して劣っているといっても決して恥じることはない。

けれども
去年の自分と今年の自分を比較して
もしも今年が劣っているとしたら
それこそ恥ずべきことである。

4月から、それぞれの新しい環境で心機一転していけるよう、おおいに自分を振り返ることとしましょう。学校だより「別府ゆうきくん」の一年間のご愛読、心より感謝申し上げます。

別府中学校PTA活動、いつもありがとうございます

最近の3つの活動を紹介します！



家庭教育学級閉講式 学校保健委員会 学級PTA

たくさんの受賞おめでとう！

- ◆ 枕崎市新春ランキング卓球大会
女子ダブルスの部
板敷涼香さん・長野ハンナさん（1位）
俵積田希々さん・臼井七海さん（3位）
- ◆ 体力アップ！チャレンジかごしま
長縄エイトマン（県第4位）
別府中1年生

※その他、今年度検定

- ◆ 漢検 合格14名
- ◆ 英検 合格17名
- ◆ 数検 合格2名



体育館階段修繕と図書寄付に感謝です！

ホームページにも載せておりましたが、体育館階段を修繕して新品のように美しくなりました。保護者の山田信さんと栗野弘さん、ありがとうございました。また、平成11年から学校図書に積山文庫として積山武光さんから、今年も御礼申し上げます。



3月中旬～4月の行事予定

- 3/12 (火) 卒業式予行・同窓会入会式・卒業式準備
- 3/13 (水) 第72回卒業式
- 3/14 (木) 公立高校入試合格発表
- 3/15 (金) 市民あいさつ運動
- 3/22 (金) 別府小卒業式
- 3/24 (日) ベっぷ里山こども園卒園式
- 3/25 (月) 修了式・小中PTA公連合同送別会
- 3/27 (水) 辞任式
- 4/ 8 (月) 新任式・始業式・入学式準備・（※弁当持参）
第73回入学式・入学式片付け
- 4/ 9 (火) 身体測定・視力検査・聴力検査・（※給食開始）
学校生活オリエンテーション・新入生を迎える会
- 4/10 (水) 知能検査（1・3年）・AAI（2年）・標準学力検査
- 4/11 (木) 標準学力検査・進路適性検査（2年）
- 4/12 (金) 心臓検診



We love Makurazaki



枕崎で「攻めの農林水産業」を目指そう！

◆ 3/6 (水) に、2年生が職場見学（港湾浚渫工事：こうわんしゅんせつこうじ）に行きました。

浚渫とは、船舶が安全に航海できるように、港湾の底面をさらって土砂を取り去る土木工事のことです。綺麗な海環境を創造することは、地元枕崎の水産業にとって、大変重要な仕事です。



◆ 3/7 (木) に、1年生が農業体験学習に行きました。たくさんの作業を積み重ねてようやく収穫にたどり着くわけですが、その収穫の喜びを分かち合う瞬間に立ち会わせてもらいました。別府校区はお茶とともに多種の野菜生産も盛んです。



◆ 今回、枕崎の基幹産業である農業と水産業関係を学びました。食農は私たちの食料安定供給ばかりでなく、故郷の環境保全や地方活性化に大きな役割を果たします。今後、社会構造が変わったとしても、ぜひ皆さんの世代で、成長産業につなげる努力をし続けて欲しいと願います。